

信号システム理論 試験問題

担当：馬場口 登

1. 離散時間信号について以下の各問に答えよ。

(a) 離散時間の2つの正弦波信号を

$$x_1[n] = A \cos(\Omega_1 n + \phi)$$

$$x_2[n] = A \cos(\Omega_2 n + \phi)$$

とする。但し、 A は振幅、 Ω_1, Ω_2 は周波数 ($\Omega_2 > \Omega_1 > 0$)、 ϕ は位相、 n は整数である。

(i) $x_1[n]$ が周期的であるための条件を求めよ。(ii) すべての整数 n について $x_1[n] = x_2[n]$ となるための条件を求めよ。(b) 離散時間の単位ステップ信号 $u[n]$ と単位インパルス信号 $\delta[n]$ を考える。(i) $\delta[n]$ を $u[n]$ で表せ。(ii) $u[n]$ を $\delta[n]$ で表せ。(iii) 任意の信号 $x[n]$ を $\delta[n]$ で表せ。

2. 以下の問に答えよ。

(a) 連続時間信号 $e^{j\omega' t}$ のフーリエ変換が $2\pi\delta(\omega - \omega')$ となることを示せ。ここで、 δ は Dirac のデルタ関数である。(b) 連続時間信号 $x(t)$ と $y(t)$ の積 $x(t)y(t)$ のフーリエ変換が $\frac{1}{2\pi}(X(\omega) * Y(\omega))$ となることを示せ。ただし、 $X(\omega), Y(\omega)$ はそれぞれ $x(t), y(t)$ のフーリエ変換を表し、 $X(\omega) * Y(\omega)$ は $X(\omega)$ と $Y(\omega)$ の畳込みを表す。(c) 周期 $T (> 0)$ のインパルス列 $p(t) = \sum_{n=-\infty}^{\infty} \delta(t - nT)$ をフーリエ級数展開して

$$p(t) = \frac{1}{T} \sum_{n=-\infty}^{\infty} e^{jn(2\pi/T)t}$$

となることを示せ。

(d) $p(t)$ のフーリエ変換 $P(\omega)$ が

$$\frac{2\pi}{T} \sum_{n=-\infty}^{\infty} \delta(\omega - \frac{2\pi}{T} \cdot n)$$

となることを示せ (ヒント: 問 (a) の結果を使え)

(e) 信号 $x(t)$ を周期 T でサンプリングした信号 $x_s(t)$ は $x(t)$ と $p(t)$ との積で表され、

$$x_s(t) = x(t)p(t) = \sum_{n=-\infty}^{\infty} x(nT)\delta(t - nT)$$

となる。 $x_s(t)$ のフーリエ変換 $X_s(\omega)$ を求めよ (ヒント: 問 (b) の結果を使え)

3. 本講義の感想を述べよ (分量は任意とするが必ず記載すること)